

“人生はチャレンジ” さあ、一步を踏み出そう！

(令和2年3月1日発行「口加新聞」に掲載)

あやめが丘に春を告げる爽やかな風が吹きわたっています。この春風に乗って、八十九名の若人たちが、今まさに洋々たる未来へ向けて飛び立とうとしています。期待と緊張で口加高校の正門を通った日。あれから三年の月日が流れました。伊藤整は著書「青春」の中でこう表現しています。「人の生涯のうち一番美しくある青春の季節はおのずから最もむずかしい季節である。」今日まで歩んできた道のりは決して平坦ではなく、時に狭く、峻険な場所もあったに違いありません。人生を考え、学習や部活動で悩み、時に恋に胸焦がす日もあったことでしょう。その全てを乗り越えて今、心身ともに成長した「私」があるのです。

さて、昨年十一月十五日、第四回口加塾を開催し、(有)和泉屋 代表取締役社長 井上 確様に「挑戦する力 変化する力」と題してご講演をいただきました。一昨年、講師をお務めいただいた 早野 忠昭 様の演題は「変化を恐れず挑戦していく力」でした。奇しくもお二人の先輩方が後輩に贈るメッセージのキーワードは「挑戦」と「変化」でした。井上氏は洋品店の経営からスタートされ、現在に至っていらっしゃいます。早野氏は高校の体育教師を経て、現在は東京マラソンのレースディレクターです。両氏が七十年、あるいは六十年生きてきて人生を振り返ると、人生とは「挑戦」と「変化」の連続であったという境地に達せられたのではないのでしょうか。失敗を恐れることなく、チャレンジし続けることの大切さを後輩に熱く語っていただきました。

中国の後漢朝について書かれた歴史書、『後漢書』に次のような場面があります。後漢の武将、班超は四十人弱の軍勢で、百人を超える敵陣と対峙します。敵方が寝静まるのを待って火を放ち襲いかかりました。急襲に逃げまどい、ついに敵方は全滅に追い込まれました。班超が夜襲を前に兵士たちを鼓舞したことばは「不入虎穴，焉得虎子（虎穴に入らずんば虎児を得ず）」です。時に危険を冒さなければ成功することはできない、という意味です。「危険を冒す」を英訳すると take a risk です。risk (リスク) は日本語で「危険」と訳されますので、「危ない」というイメージをもたれますが、英語の risk は少しニュアンスが違います。risk は chance (チャンス) という意味に近いことばです。つまり「リスクをとる」というのは「チャンスをつかむ」とか「可能性をつかむ」と言ってもいいでしょう。人生は選択の連続であり、様々な「その時」があります。しり込みしたり、逃げたりせず一步踏み出して take a risk してください。その先にこそ人生のチャンスが待っているのです。「逃」と「挑」、どことなく漢字が似ています。「逃げる」のか、「挑む」のか、それは紙一重。あなたの心ひとつです。「チャンスはピンチの顔をしてやってくる」ともいいます。自分にとって窮地と思った時、実はそれは大きなチャンスの中にいるのだと思ってください。

チャレンジをするとうまくいくこともあれば、期待とは違う結果になることもあります。かつて読んだ本に「成功者に法則はなく、失敗者のみに法則がある」とありました。失敗者のみに共通する法則、それは問題を人のせいにする習慣だそうです。例えば商売に失敗した

人は「仲間の信頼が得られなかったから」とか「店の場所が悪かったから」、「取引先が倒産したから」などと必ず問題を誰か、または何かのせいにしてているのだそうです。うまくいかなかった原因を探っていくと結局は自分自身にたどり着くのです。すべての結果は自分に起因しているということです。「勝ちに不思議な勝ちあり。負けに不思議な負けなし」という元プロ野球選手でのちに名監督となった野村克也さんのことばと共通しています。野村氏の著書「負けかたの極意」にこういう一節があります。

『考えてみると、私の人生はある意味、負け続けであった。何をしてもすべて負けからスタートしている。最初からうまくいくことなど一度もなかった。うまくいくように思えた時でも、必ず壁にぶつかり、跳ね返された。けれども、その都度、自問した。「なぜ、うまくいかなかったのか。何がいけなかったのか。」原因を突き止めたら、次はこう考えた。「どうすればうまくいくのか。そのためには何をすればいいのか。」 試行錯誤を繰り返すなかで、少しずつ進歩していった。私の人生は、まさしくその連続だった。「どうすればいいのか」「何が足りないのか」と、もがき、苦しみ、懸命に頭を使い、知恵を振り絞り、「こうしたらうまくいくのではないか」「これならどうだ」と試行錯誤するなかで、人間は成長する。本当の実力を身に付ける。

人の数だけ人生があります。そして、そこに優劣などないのです。自分であり続けることが能力の発見の近道です。人に気に入られようとか好かれようという生き方をすると自分を見失います。人を喜ばせる生き方をしてください。人に迷惑をかけない生き方ではなく、人の役に立つ生き方をしてください。人生はチャレンジ。さあ、一步を踏み出そう！

「失敗と書いて、せいちょう(成長)と読む。」(野村 克也)